

政治を「もとから変える」共産党

全11ブロックに26候補

総選挙

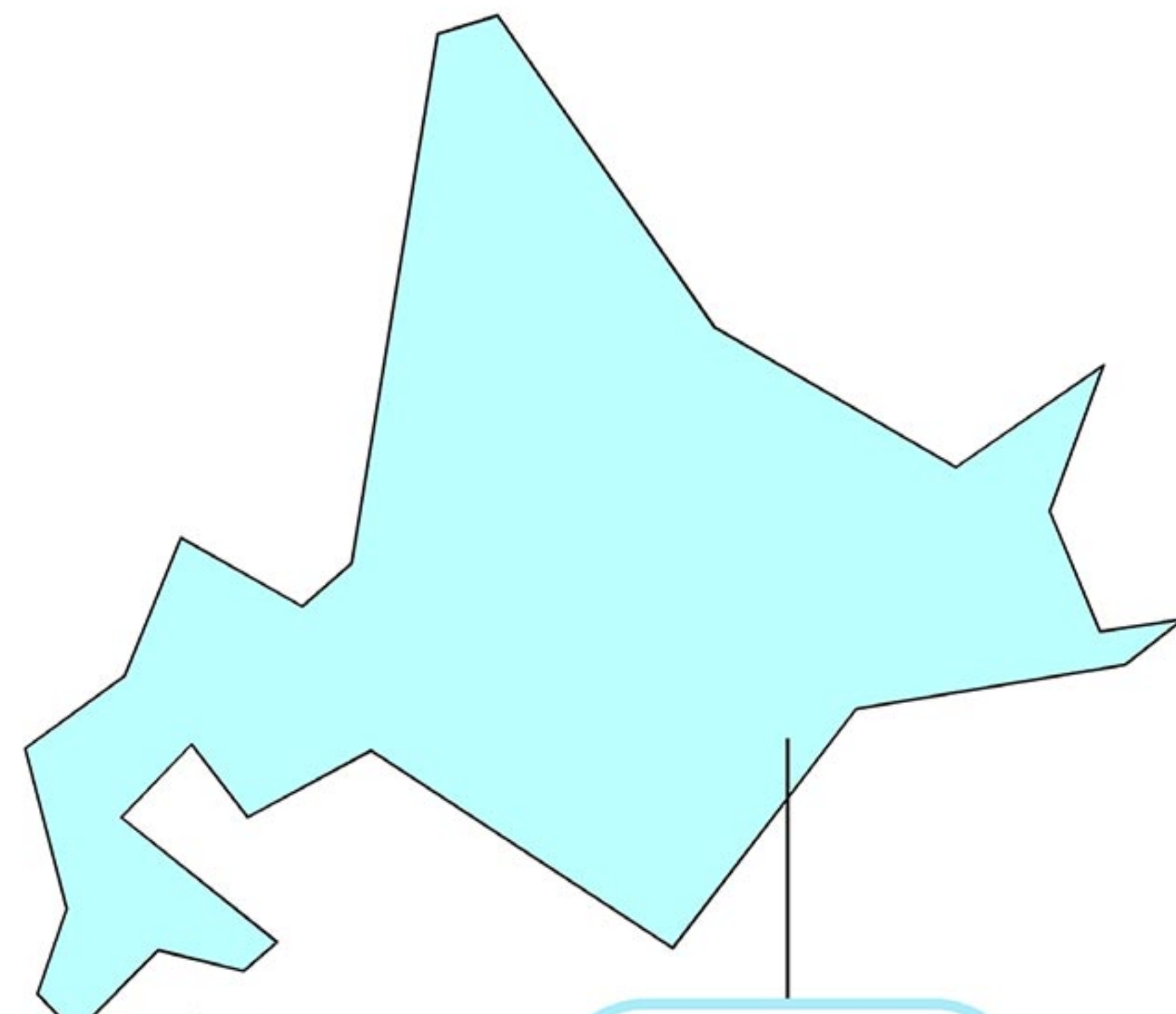
岸田政権の末期的な浮き彫りになる大激動のなかで、2024年がスタートしました。来るべき総選挙は、「腐敗政治」「経済無策」「アメリカ言いなり」「人権後進国」など、日本のあり方の根本が問われる選挙となります。

「失われた30年」をもたらした財界中心の経済政策を続けるのか、日本共産党の「経済再生プラン」が指し示す抜本的な改革を遂行するのかが、アメリカ言いなりの大軍拡で「戦争国家づくり」をすすめるのか、それとも日本共産党の「外交ビジョン」の方向で平和を構築するのかが争点は明瞭です。自民・公明とその補完勢力が多数を占める「国民の声が届かない政治」をめざします。

か、市民と野党の共闘で「国民の声が生ける政治」に変えるのが問われています。

自民党政治の行き詰まりを打開し、国民が希望の持てる新しい政治をつくる最大の力となるのは、政治を「もとから変える」変革の党——日本共産党の躍進です。

総選挙で日本共産党は、比例代表での躍進を中軸に、すべ、「650万票、10%以上」を獲得し、すべての比例ブロックでの議席獲得と議席増をめざします。小選挙区では、沖縄1区の「オール沖縄」の一党の議席を絶対的に守り抜くことにも、小選挙区でも勝利できる党への成長・発展を戦略的目標にすべ、議席増をめざします。



北海道(8)

はたやま 和也 52元
衆院議員1期、党中央委員、北海道副委員長

北関東(19)

梅村 さえこ 59元
衆院議員1期、党中央委員・子どもの権利委員会責任者

塩川 鉄也 62元
衆院議員8期、党国会対策委員長、長代理、党幹部会委員

東京(19)

宮本 徹 51元
衆院議員3期、党中央委員、東京20区重複

田村 智子 58元
参院議員3期、党副委員長・政策委員長

坂井 和歌子 46元
党東京都常任委員、吉良・山添参院議員事務所所長

谷川 智行 52元
党中央政策委員、会委員、医師、東京4区重複

南関東(23)

志位 和夫 69元
衆院議員10期、党幹部会委員長

はたの 君枝 66元
衆院議員2期、参院議員1期、党中央委員・スポーツ委員会責任者

さいとう 和子 49元
衆院議員1期、党中央委員

近畿(28)

堀川 あきこ 37元
党京都府常任委員、自治体部長、京都2区重複

たつみ コータロ 47元
参院議員1期、党中央委員

清水 ただし 55元
衆院議員2期、党中央委員、大阪4区重複

こむら 潤 48元
党兵庫県常任委員、県シエンター平等委員会責任者、兵庫8区重複

北陸信越(10)

藤野 やすふみ 53元
衆院議員2期、党幹部会委員、政策委員会副委員長

平 あや子 44元
新潟市議2期

東海(21)

もとむら 伸子 51元
衆院議員3期、党幹部会委員

すやま 初美 45元
党准中央委員、党愛知県副委員長

中国(10)

大平 よしのぶ 45元
衆院議員1期、党中央委員

垣内 京美 57元
党岡山県書記長

四国(6)

白川 よう子 57元
香川県議4期、党中央委員

浜川 ゆりこ 44元
党高知県副委員長、長、高知2区重複

九州・沖縄(20)

あかみね 政賢 76元
衆院議員8期、党幹部会委員、党沖縄県委員長、長、沖縄1区重複

田村 貴昭 62元
衆院議員3期、党中央委員

衆院選挙・投票の制度解説

衆院選は2回投票します

1回目
小選挙区は候補者名で

2回目
比例代表は政党名で
※候補者名を書くこと無効になります
(記載例) 日本共産党

小選挙区

比例代表

制度解説

衆議院選挙(総定数465)は、小選挙区(定数289)と比例代表(定数176)の二つの選挙があり、2回投票します。

■比例代表

衆院の比例代表は、政党名で投票します。候補者名は無効となります。

全国を11の比例ブロックに分け、ブロックごとに定数が決められています。政党はブロックごとに候補者名簿を提出し、得票数に応じて各党の議席数が決まります。

次回選挙から定数変更が行われ、南関東ブロックは1増の23、東京ブロックは2増の19、東

北ブロックは1減の12、北陸信越ブロックは1減の10、中国ブロックは1減の10となります。

■小選挙区
候補者名で投票します。
次回選挙から25都道府県の140選挙区で選挙区割りの変更されます。

ブロック名の数字は定数。氏名の下は年齢(1月10日現在)、現職、元職、前職、新人の別。写真の下は経歴と現在の役職。